

平成27年度事業報告

1. 基本方針

日本包装学会の目的は、学会会則にあるように、包装にかかわる各種材料、加工、機械、システム、製品、検査、流通、デザイン、心理、環境、社会等の科学及び技術の進展をはかり、もって学術文化の向上と産業の発展に寄与することにあります。

平成27年度は、これまでの活動実績を踏まえ、「社会の要請に応えうる開かれた学会づくりと、次世代包装人の育成」と「国際化の推進」に力を注いできました。特に、ホームページのリニューアルを実施し、はじめてホームページを訪れる方に学会活動に理解を深めていただくなど、学会の活性化につなげることができました。

平成27年度は大会を東京で行い、参加登録者数262名、口頭発表31件、ポスター発表25件、あわせて、第11回国際包装セミナーを開催し大きな成功を収めました。さらに、シンポジウムの開催、学会誌の刊行(6冊)の他、学会ホームページ充実による情報発信機能の強化も引き続き行ってまいりました。

2. 学会運営の経過

2-1. 第24回通常総会

- ・ 日時:平成27年7月3日
- ・ 場所:東京大学 弥生講堂
- ・ 議決権:34、委任状数 191、有効議決件数 225

2-2. 理事会

- ・ 第74回:平成27年6月2日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第75回:平成27年7月3日 東京大学 弥生講堂会議室
- ・ 第76回:平成28年2月16日 東京海洋大学 越中島会館

2-3. 会長補佐会議

- ・ 第81回:平成27年4月13日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第82回:平成27年7月3日 東京大学 弥生講堂会議室(臨時開催)
- ・ 第83回:平成27年11月9日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第84回:平成28年1月 メール審議(1月18日 議事録配信)

3. 各委員会の活動

3-1. 編集委員会

平成27年度は、日本包装学会誌Vol. 24, No. 2～Vol. 25, No. 1を、年間6号(隔月)発刊した。

委員会開催

- ・ 第147回 平成27年 5月18日 八重洲倶楽部
- ・ 第148回 平成27年 7月 6日 八重洲倶楽部
- ・ 第149回 平成27年 9月15日 八重洲倶楽部
- ・ 第150回 平成27年11月16日 八重洲倶楽部
- ・ 第151回 平成28年 1月18日 八重洲倶楽部
- ・ 第152回 平成28年 3月22日 八重洲倶楽部

学術雑誌「日本包装学会誌」の発刊

- ・ 第24巻第2号(平成27年 4月号)
- ・ 第24巻第3号(平成27年 6月号)
- ・ 第24巻第4号(平成27年 8月号)
- ・ 第24巻第5号(平成27年10月号)
- ・ 第24巻第6号(平成27年12月号)
- ・ 第25巻第1号(平成28年 2月号)

3-2. 企画委員会

委員会活動は年4回開催、業界の話題性の高いテーマ設定と演題選定を行い年3回のシンポジウムを開催し、合計169名に参加いただいた。今年度よりアンケート調査を開始、参加満足度調査においてはまずまずの高評を得ている。また、参加者の期待する内容を把握することで今後のテーマ設定に活用していく。

- ・ 第67回シンポジウム 平成27年6月19日開催
テーマ「香料の構造・性質、分析方法と保香性容器包装材料」
- ・ 第68回シンポジウム 平成27年10月16日開催
テーマ「医療安全にはたす包装の役割－現状と今後の課題」
- ・ 第69回シンポジウム 平成28年2月29日開催
テーマ「物流環境の変化に対する輸送包装－高機能輸送包装と輸送環境の科学」

3-3. 研究委員会

4つの研究会(バリア材料、輸送包装、青果物鮮度保持包装(MAP)、包装とICT)が活動しており、それぞれの活動状況は次のとおりである。

- ・ バリア材料研究会 第21回バリア材料研究会を平成27年11月17日に王子・北とぴあにて開催した。
- ・ 輸送包装研究会 輸送包装ディスカッションを平成27年9月14日に株式会社日立物流テクニカルセンターにて開催し、①擦れ問題に関するディスカッション、②日立物流テクニカルセンター試験ラボの見学、③交流会を実施した。
- ・ MAP研究会 研究会(講演会)開催を検討中。
- ・ 包装とICT研究会 見学会を平成28年2月22日に富士通トラステッド・クラウド・スクエアにて開催し、①クラウド型地図サービス GIFOCUS(ジーアイフォーカス)、②Operational Data Management & Analytics for 食品、のデモが行われた。

3-4. 大会運営委員会

日本包装学会第24回年次大会を、平成27年7月2日と3日の2日間にわたって東京大学弥生講堂にて開催した。参加登録者数262名、口頭発表31件、ポスター発表25件、更に、第11回国際包装セミナー(IPS'15):海外講師(2名)、国内講師(1名)を招聘して講演を行っていただき、盛況のうちに大会を終えることができた。参加各位からの貴重なご意見・ご要望を踏まえ、第25回年次大会も有意義な大会とすべく準備を進めている。

委員会開催

- ・ 第181回 平成27年5月12日 東京海洋大学
 - ・ 第182回 平成27年6月9日 東京海洋大学
 - ・ 第183回 平成27年9月29日 東京海洋大学
- (以降 第25回年次大会準備)
- ・ 第184回 平成27年10月20日 東京海洋大学
 - ・ 第185回 平成27年11月10日 東京海洋大学
 - ・ 第186回 平成27年12月8日 東京海洋大学
 - ・ 第187回 平成28年1月12日 東京海洋大学
 - ・ 第188回 平成28年2月9日 東京海洋大学
 - ・ 第189回 平成28年3月8日 東京海洋大学

第24回年次大会

- ・ 会期:平成27年7月2日、3日

- ・ 会場: 東京大学 農学部 弥生講堂他
- ・ 参加登録者数: 262名
- ・ 発表数: 56件(口頭31件、ポスター25件)
- ・ 第11回国際包装セミナー(IPS'15): 海外講師(2名)、国内講師(1名)

3-5. 広報委員会

インターネット関連

- ・ 学会主催催事(シンポジウム・年次大会・研究会)の開催案内と参加受付をホームページにて行った。また会員向けにメールを発信し、告知した。
- ・ 協賛・後援している催事についてホームページに掲載した。
- ・ 学会誌の発行に合わせて、最新版の目次をホームページに公開した。
- ・ 維持会員リスト/過去の受賞者リスト/事業報告/事業計画/学会誌掲載後1年以上経過した論文および/包装アーカイブスのホームページ公開を進めた。

3-6. 包装アーカイブス委員会

学会誌に掲載した包装アーカイブスでホームページ未公開分についてホームページ公開を進めた。

3-7. 国際交流委員会

IPS'15について「New Biomass Derived Materials and Applications for Agricultural Product and Food Packaging」をテーマに企画立案し、下記の通り海外から4名、国内から1名の講師を招聘し、講演及びパネルディスカッションを行った。

- ・ Dr. Mikael Gällstedt 「Renewable Polymers for Barrier Functions to Packages」
- ・ Prof. Sommai Pivsa-Art and Prof. Supakij Suttiruengwong 「Development of Biobased and Biodegradable Polymers for Packaging in Thailand」
- ・ 大島 一史 「バイオマスプラスチック材料: 現状と普及に向けた課題」
日本包装学会誌Vol. 24, No. 5にIPS'15の特集記事を掲載した。

3-8. 学会賞等選考委員会

平成27年7月3日東京大学弥生講堂において、平成26年度日本包装学会奨励賞及び論文賞授賞式を行った。

平成28年3月30日に八重洲倶楽部会議室において、学会賞等選考委員会を開催した。

奨励賞の被推薦者について厳正に審査し、次の授賞候補者を決定した。

- ・ 北澤裕明 「繰り返し衝撃による青果物の蓄積疲労損傷評価に関する研究」

投稿論文について厳正に審査し、授賞候補論文を次のとおり決定した。

- ・ 北澤裕明・斎藤勝彦・石川豊：「Method for Controlling Product Damage Subjected to Cumulative Fatigue Considering Damage Degree at Each Layer in Stacked Packaging（多段積み包装における段ごとの損傷度を考慮した蓄積疲労により損傷する物品の損傷制御方法の提案）」

日本包装学会功労賞の授賞選考を行い、下記の方を授賞候補者として決定した。

- ・ 広瀬 和彦 氏

3-9. 財務委員会

平成27年度決算及び平成28年度予算の作成。毎月の財務状況確認。

3-10. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として学会活動を運営した(詳細 学会運営の経過参照)。

以上のとおり、報告致します。

石川 豊	(会長)
斎藤 勝彦	(副会長)
永井 一清	(副会長・編集委員長)
島村 悦夫	(企画委員長)
中嶋 隆勝	(研究委員長)
田村 祥	(大会運営委員長)
天野 勉	(広報／包装アーカイブス委員長)
宮田 剣	(国際交流委員長)
椎名 武夫	(学会賞等選考委員長)
古田 拓	(財務委員長)
牧 伸行	(総務委員長)
長谷川 淳英	(監事)
白倉 昌	(監事)